

現宮前区役所・市民館・図書館の存続と 鷺沼駅前再開発の見直しを求める請願

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（略称：宮前区を考える会）

《請願理由》

- 首都直下型地震と南海沖トラフ地震は、今後 30 年で 70%の確立で起きると予想されます。盛土で道路網の脆弱なリスクを抱える鷺沼地区を避けて、現公共施設を残すべきです。
- コロナ危機など経済不安と職人不足で建築費は高騰しています。東急・鷺沼駅前地区再開発建設費は、約 500 億円から約 880 億円に引き上げられました。市民負担（市税）も 150 億円から 350 億円に増額されました。際限のない補助金をつぎ込む鷺沼駅前再開発事業は大幅な見直しが必要です。
- 鷺沼再開発地区は狭隘なため、大災害時に生活・避難対応が難しい。建設の中心になっている 2 棟のタワマンションを中低層マンションに見直し、鷺沼の文教地区にふさわしくバランスの取れたまちづくりをすすめることが必要です。

《請願項目》

1. 防災の観点から、現宮前区役所・消防署・警察署の連携と避難所としての現市民館・図書館の総合的存続を強く求めます。また、鷺沼駅前再開発地区には、市民館・図書館の分館をつくることを求めます。
2. 鷺沼駅前再開発事業で、建設費のこれ以上の市税負担はしないことを求めます。
3. 鷺沼再開発地区のタワマンの中低層化を求めます。

氏 名	住 所